

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会長 中武 功見  
副会長 多賀 学昭  
幹事 岩本 正志

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4  
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

## 第2283回 令和6年2月1日プログラム

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 1. 点 鐘                   | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング<br>君が代・奉仕の理想 | 8. BOX披露     |
| 3. ビジター・ゲスト紹介            | 9. 各委員会報告    |
| 4. 会長の時間                 | 10. 点 鐘      |
| 5. 幹事報告                  | 11.          |
| 6. 出席報告                  |              |

## 高鍋ロータリークラブテーマ

『明るく居心地の良いクラブから、希望の種子を』

第2730地区ガバナー 池ノ上 克  
中部グループガバナー補佐 長嶺 貴臣  
RI 会長テーマ

『世界に希望を生み出そう』

第2730地区テーマ 『平和を求め、希望あふれる、  
明るいロータリーライフを進めよう』

2月の月間テーマ

平和と紛争予防/紛争解決月間

本日の例会案内 \*米山ランチBOX  
\*月初めのセレモニー \*雑誌紹介  
\*外部卓話—高鍋警察署長 水口圭二様  
\*例会終了後理事会

## 次週例会案内 (第2284回)

\*血圧測定  
\*外部卓話—勢井由美子様 (アカデミーRC)

## 第2282回 例会内容 (1/25)

### ☆会長の時間

皆様お疲れ様です。本日も、高鍋ロータリークラブ例会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

また、本日はゲスト卓話者として、宮崎県立高鍋高等学校の第29代校長である山尾典子様においでいただいております。誠にありがとうございます。後ほど高鍋高校の現況を詳しくお話していただけるものと、大変楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今朝は大変寒かったですね。この冬最強の寒波の襲来ということで、私の起床した5時前の気温はマイナス4.6度でした。昨日は九州各地でも積雪があり、九州道や長崎道などの高速道路では、広い範囲で通行止めになり、北九州では路線バスも一時運航を見合わせる事態となりました。宮崎の山間部、えびの高原や高千穂などでも積雪が確認されました。しかし、この寒波も昨日と今日がピークで、来週あたりからまたもや暖冬の傾向となる模様です。また、山尾校長先生に話を戻しますが、実は私、山尾校長先生のことを昨年の4月に高鍋高校に着任され

### 会長 中武 功見 君



る前より存じ上げておりました。と申しますのも、高鍋町の障がい者自立支援協議会という会合で一緒させていただいておりましたからです。この自立支援協議会とは、障害者への支援体制を地域の状況に合わせ、福祉領域の機関・専門職だけではなく、医療や教育又は雇用など様々な生活に関連する機関等が、相互の連携を図ることにより課題の抽出や問題解決を目指すものです。簡単に言うと、「いろいろな人が障害者に関わって、地域の状況に合わせた支援体制を検討していく」というものです。そこで前任地の学校の校長先生として、山尾校長先生と一緒させていただいていました。そのような事から、山尾校長先生は、障害者福祉について深い造詣をお持ちだということをお知らせしておきます。

本日は、その障害福祉のエピソードからお話を始めさせていただきます。障害福祉サービスの日中活動支援の中に、就労支援サービスがあります。私の事業所が行っているものですが、その中に就労継続支援A型や同じく就労継続B型というものがあります。これらの他に就労移行支援事業というものがあります。就労移行支援事業とは、一般の企業に雇用されることが可能と見込まれる障害者が対象となります。就労継続支援A型とは、一般企業への就労が困難な障害者と、雇用契約を結び最低賃金を保証して利用してもらう福祉サービスです。また、就労継続支援B型とは、雇用契約を結ばずに利用してもらう福祉サービスになります。ここで、皆様の記憶にお伺いしたいと思います。昨年9月27日の会長の時間で、同じよう

にAやB、またLというようなお話をさせて頂いたのですが、覚えていらっしゃる方はおいででしょうか？答えは、刑務所です。犯罪傾向の進んでいない者の収容施設がA級刑務所、犯罪傾向の進んでいる者を収容する施設がB級刑務所、10年以上の長期刑を収容するのがL級刑務所。九州管内では大分刑務所がA級、宮崎刑務所はB級、熊本刑務所がL級でしたよね。そのような話題が昨日ありましたので、それと合わせて話を進めさせていただきます。

そもそも、私がなぜ福祉と司法の連携をしているかというお話からさせて頂きたいと思います。2003年に元国会議員の山本譲司さんが『獄窓記』という手記を発表し、自身の受刑体験をもとに、刑務所には障害のある人や高齢者が多く収容されている事実を明らかにしました。刑務所の中に、他者との集団生活が難しい人を集めた養護工場と呼ばれる場所が設けられており、そこで山本さんは他の被収容者をケアする仕事を担っていたのです。中には自分が刑務所にいることすら認識できない人たちもいて、その多くは刑務所に収容される前に社会福祉による支援を受けてきておらず、釈放されることに大きな不安を抱えた人もいたことを山本さんは指摘したのです。

その後、2006年から3年に亘って、長崎県にある社会福祉法人南高愛隣会理事長であった田島良昭さんが代表となり、厚生労働研究として「罪を犯した障害者の地域支援に関する研究」が実施されました。この研究によって、山本さんが指摘した問題がより詳細、かつ系統立てて明らかにされました。また同時期に実施された法務省による特別調査では、矯正施設の被収容者の中に一定数の知的障害（その疑いのあるものも含む）が収容されているが、療育手帳を所持しているものはごく限られていることが報告されています。そして、この人たちの多くは窃盗などの比較的軽微な犯罪で収容されており、収容前に十分な支援を受けておらず、また、釈放後の支援も乏しいことから短期間のうちに再犯に至り、受刑を繰り返すものもありました。この頃より、高齢や障害があつて矯正施設から出る人を対象として、司法と福祉の連携による政策的対応が始まりました。刑務所・保護観察所・更生保護施設への社会福祉士や福祉スタッフの配置や、各都道府県への「地域生活定着支援センター」の設置等の矯正施設を出る段階で、刑事司法による処遇の終了段階における支援という意味から「出口支援」と呼ばれています。その地域生活定着支援センターを、宮崎県社会福祉士会で誘致し、2019年にセンター長になったことが、私が司法と福祉の連携に携わる大きなきっかけとなりました。その後、検察庁での福祉アドバイザーや、高橋先生のような弁護士の先生たちとの連携で、捜査段階や裁判段階における被疑者・被告人への支援、いわゆる「入口支援」にも携わるようになりました。さらに、「入口支援」の前段階、犯罪が極めて少なくなるような安心で安全な地域づくりを目指し、自立支援協議会も変化させていきたいと思っておりますので、高鍋ロータリークラブの皆様方におかれましても、ますますのご理解とご協力を頂ければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、本日もこの例会が、少しでも皆様方の入りて学ぶ機会になればと思います。どうぞ最後までロータリーをお楽しみください。

#### ☆幹事報告<文書案内> 副幹事 甲斐 宏昌 君

\*会長エレクト研修 (PETS)

開催のご案内

日時 令和6年3月9日～10日

場所 ホテル京セラ

\*日南ロータリークラブ創立

日時 令和6年6月15日 土

15:30～

場所 ホテルシーズン日南

登録料 10,000円



#### ☆外部卓話

宮崎県立高鍋高等学校

校長 山尾 典子 様



#### 第17回高鍋ロータリーカップ

ミニタグラグビー大会へ助成金授与

会長より石田君へ



第17回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会  
 <2024年1月28日 小丸川河畔運動公園>



親睦委員長 岩切一浩君



出席委員 長濱 博君



ピアノ演奏 森幸子さん



卓上の花



本日の食事



☆出席報告 出席委員 長濱 博君  
 出席状況 (1/25)

会 員 数	41 名
出席会員数	30 名
ホーム出席率	75.00%
前々回修正出席率	80.00%



四つのテスト  
 言行はこれに照らしてから  
 1、真実かどうか  
 2、みんなに公平か  
 3、好意と友情を深めるか  
 4、みんなのためになるかどうか